

1 教室環境チェック (改善されていると思う項目に○)

担任 (佐藤 絢香)



教室環境改善

1 基本的な清掃と整理整頓がされているか?	○
2 安全への配慮がされているか?	○
3 感覚刺激への配慮がされスッキリしているか?	○
4 学級や授業で大切にしていることが見て分かるか?	
5 生活や学習の見通しや動線が見て分かるか?	
6 必要な学習の成果や掲示が適宜されているか?	○
7 掲示の場所や方法にルールはあるか?	○

2 学級の実態

- ・言葉による指示、写真・絵カードによる視覚的支援により、行動することができる。
- ・「約束」をすることで、自分の行動を調整する力が身についてきている。
- ・排便については課題がある。
- ・人とかかわることが楽しい。
- ・発語はないが、身振りやカード等で自分の気持ちを他者に伝えようとするすることができる。



3 特に工夫している部分

- ・清掃を毎日行い、教室を清潔に保つ。
- ・安全に生活できるよう、危険な物を置いたり、高い所に物を置いたりしない。
- ・パーテーションを活用し、刺激の統制を図る。

4 改善の経緯

(1) 5月頃の教室環境とその頃の児童生徒の様子

- ・順番に関する掲示が週予定のみだった。数字の順番には関心がなく、ばらばらに数字を並べていた。
- ・廊下を人が通ると、そこに注意が向いてしまう。

改善のポイント!!

- ・シンプルな環境にする。
- ・目印などを貼りすぎない。目から入る刺激を多すぎず少なすぎないようにする。

(2) 12月現在の教室環境とその頃の児童生徒の様子

- ・教卓の上にはボックスを置き、教師が使う物を一つにまとめた。
- ・順番に関する掲示を、週予定だけでなく、月予定、水ぶきの回数ボード等を取り入れ、順番を考える環境を意図的に作った。また、自立活動の学習にも取り入れたことにより、順番は上から下、左から右に推移することが多いという法則性を感じるできるよう、教室の環境を設定している。現在では、そのことを意識しながら数字を並べることができるようになってきた。
- ・パーテーションを使用したことで、集中して学習に取り組めるようになった。

今後の改善などについて

- ・場面に応じてパーテーションを引き続き活用していく。
- ・順番を考える環境を、今後も重視していく。

